

第 20 回 鋼構造と橋に関するシンポジウム 「鋼橋の腐食損傷と対策～長寿命化技術の現状と理想～」



鋼道路橋の技術基準における仕様規定から性能規定への移行は、平成 14 年の道路橋示方書から始まった。性能規定への改訂を契機に、ライフサイクルコストや耐久性、設計供用期間、品質、維持管理など、鋼橋の長寿命化に向けた議論が本格的にスタートした。鋼橋の経年劣化は疲労と腐食といわれ、疲労については原因究明と対策が進んでいるが、腐食については未だ十分とは言えない状況にある。その理由として、防食技術の性能規定化が進まないこと、費用対効果が適正に評価されていないことなどが挙げられる。

平成 25 年の道路法改正等を受け、平成 26 年 7 月より、全ての道路橋について 5 年に 1 度の近接目視点検が義務化され、点検の実施状況や診断結果などが「道路メンテナンス年報」として公表されている。これを概観すると、通行止めや交通規制などの緊急措置が行われた鋼橋における損傷の具体的内容には、腐食によるものが多くみられる。

これから建設する鋼橋はもちろんのこと、これまでに建設してきた膨大な数の鋼橋も適切に維持管理し、それぞれに対してライフサイクルコストのミニマム化を図らなければならないことに議論の余地はない。新設橋における防食技術の長寿命化は進んできたが、その防食技術の適切な維持管理が具体化され、準備できているかとなると、必ずしも十分とはいえないと考えられる。また、既設橋において防食の劣化が進んだ場合の対策や、既に腐食損傷が生じている場合の長寿命化技術となると課題は多いものと考えられる。

本シンポジウムでは、新設橋と既設橋それぞれにおける長寿命化に向けた腐食対策技術とそれらを適切に活用するための技術基準の、現状と理想を考えたい。

行事コード：25701 略称：20 回橋シンポジウム

1. 主催：土木学会（担当：鋼構造委員会）
後援：日本鉄鋼連盟、日本橋梁建設協会、鋼橋技術研究会（予定）
2. 日時：平成 29 年 8 月 4 日（金）10：00－17：00（受付開始 9：20～ 受付終了 16：00）
場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス 市ヶ谷田町校舎 マルチメディアホール
（東京都新宿区市谷田町 2 丁目 33）
3. 定員：150 名（申込先着順）
4. 参加費：一般 6,000 円、学生 1,000 円（テキスト代含む）
5. 申込み締切日：平成 29 年 7 月 21 日（金）
6. 申込方法：

学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内

<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf> の「本部参加申込書」に所定の事項（特に行事コード番号）を明記のうえ、研究事業課行事担当宛に FAX（03-3355-5278）でお申し込み下さ

い. 申込到着後、開催日 1 週間前までに折返し「参加券」をお送りいたします。

土木学会個人会員の方は土木学会ホームページ

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) から申し込みが出来ます。

※申込みに関してのお願い

- (1) **参加費は原則事前振込とさせていただきます。** なお、所属先の経理上の都合により事前振込が出来ない場合には通信欄にその旨お書き添え下さい。
- (2) 申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場にて受付いたします。
- (3) お申込み後、やむを得ず**キャンセルされる場合は、必ず開催日の 1 週間前まで**に下記の「問合せ先」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (4) 申込みをされる前に送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

7. 問合せ先：土木学会研究事業課 尾崎

TEL03-3355-3559 MAIL fumiharu-ozaki“at”jsce.or.jp (“at”を@に変更して下さい)

8. プログラム

午前：委員会報告・話題提供 (10:00～11:50)

1) 開会の挨拶 (10:00～10:05)

鋼構造委員会 委員長

2) 委員会活動報告 (10:05～10:15)

鋼構造委員会 幹事長

3) 基調講演

「道路構造物の定期点検から見えてきた現状と理想」

国土交通省 国土技術政策総合研究所

道路構造物研究部長 木村 嘉富 氏

(10:15～11:15)

(11:15～11:20 質疑)

4) 「防食技術の現状と理想」

土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 玉越 隆史

(11:20～11:50)

休憩

午後：話題提供・事例紹介 (13:10～17:00)

5) 「素地調整の現状と理想」

池田工業(株) 池田 龍哉

- (13:10～13:40)
6) 「HTB の腐食対策の現状と理想」 琉球大学 下里 哲弘
(13:40～14:10)
7) 「地際部における鋼部材の腐食対策とその課題」 九州大学 貝沼 重信
(14:10～14:40)
8) 「腐食損傷した鋼橋の維持管理設計と残存耐荷力評価の現状と理想」 首都大学東京 野上 邦栄
(14:40～15:10)

休憩

- 9) 「腐食損傷した部材の当て板補強の現状と理想」 大阪市立大学 山口 隆司
(15:25～15:55)
10) 「炭素繊維シートによる鋼構造物の補修工法の現状と理想」 (株) 高速道路総合技術研究所 広瀬 剛
(15:55～16:25)
11) 「鋼鉄道橋の長寿命化技術の現状と理想」 西日本旅客鉄道(株) 木村 元哉
(16:25～16:55)
12) 閉会の挨拶 鋼構造委員会 副委員長
(16:55～17:00)

※懇親会の開催について

シンポジウム終了後、下記により懇親会を開催いたしますので、参加ご希望の方は、シンポジウム

当日、受付にてお申し込み下さい。

日時：8月4日(金) 17:30～18:30

会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス 市ヶ谷田町校舎 地下食堂

会費：2,000円程度(予定)